

連盟ニュース

3 1 1

# 神奈川 12

2010.12.14

『浅間山の雄姿』 長野県・黒斑山(くろふやま)にて 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

11月30日・立山国見岳の雪崩事故からの教訓	中山建生	2
湯河原梅林公園環境保全活動のご案内	1/16	4
第18回関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」	1/15-16	5
会山行紹介 山ブキの会「松江観光と鳥取伯耆大山」	青柳百合子	6
セルフレスキュー講習会の報告11/3	救助隊 海輪利昭	7
ハイキングリーダー学校修了山行	藤沢山の会 大野淳子	8
10月24日権現山/西丹沢(ハイキングリーダー学校養成山行)	藤沢山の会 小嶋倫子	7
第15回全国登山者自然保護集会の報告11/27-28	自然保護委員 高橋勇三	9
	横浜HC 伊藤美江子	10
自然保護観察会及び懇親会11/20-21	みずなら山の会 千葉雅子	10
鳥越章夫・写真展 光画風景		3
11月自然保護委員会報告11/29	11p / 11月事務局長会議報告11/9	12p
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定	14p / 登山時報12月号紹介	15
全国会議行事予定	16p / 県連のスケジュール	16



神奈川 県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

## 11月30日・立山国見岳の雪崩事故からの教訓

2010.12.4 中山建生

11月30日午前8時55分頃、富山県立山市・室堂平大谷付近での雪崩事故が起きた。場所をさらに特定すれば国見岳(2620m)の北側斜面である。この付近の地形的な特徴は樹木のない平坦な草付き斜面と北西側に急なガレ場をもち、雪崩が発生しやすい条件をもち。

さて雪崩が発生した数日前の天候は、週末の土日は低気圧の通過にともない寒気の流入による荒天となった。これについては重要なので後で述べる。

いくつか新聞報道にはない事実を紹介しておく。雪崩は二箇所が発生している。雪崩は国見岳の雪庇の発生した下部に幅100m以上、流れた距離200mはあるものと判定した。これと同時に直後に手前で幅50m、流れた距離150m位の雪崩が途中で先の雪崩と重り立山のバス道路を越えている。いずれの雪崩の種類も面発生を表層雪崩である。

少し整理をしておこう。

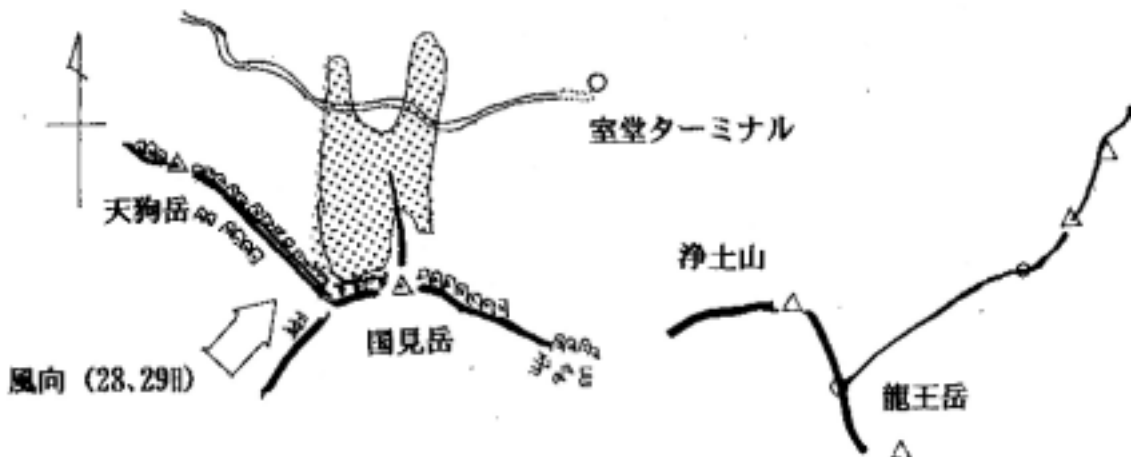
雪崩の種類は面発生の表層雪崩。しかし、先の事故者が巻き込まれた雪崩は上部の岩とブッシュの一部が露出した全層雪崩に近い。もちろん地表が滑り面ではないから全層雪崩とはいえない。埋没者の掘り出した穴に入った人は肩辺りまで隠されたから、堆積した雪の深さは150cm位かと思当を付けた。このことから雪崩た雪の量はかなりのものと考えられる。

次に雪崩発生の直前の気象は冬型で強い寒

気をとめない、風速22~27m、南西の風であった。国見岳は東西に稜線を広げ、南西からの強風はこの尾根を乗り越えて、風下側の北側斜面に雪を運び吹溜り斜面を作り出し、雪崩の危険を増加させたものと考えられる。雪崩が発生した斜面は北ないし北西斜面である。30日までの気温の変化は、-9.7、-11(700hps)、室堂平は快晴、気温-8.5度、積雪180cmで風速0mと報告された。前日の降雪は15cmあった。

発生区の雪の深さは不明である。写真からは破断面がはっきりと見えているが、その厚さまでは分からない。積雪内部にどのような変化があり弱層を形成したのかこれに関する報告はない。

このように判明した事実からは浄土山、国見岳、天狗岳側の北側斜面は吹溜り、平滑な急斜面は雪崩の危険が高くなったと見るべきで、進入ルートや滑走コースを考える上で判断のミスがあったと考える。ある程度雪崩の知識がある人達で、標高の高い斜面で滑ろうとするならば風下側の吹溜りに十分な注意を払わなくてはならない。つまり、狭い範囲に多人数が同時に進入する行為は厳禁となる。入山する一週間前くらいから気温の上下降を調べて雪質の変化を推定してみよう。降雪はこの標高なら10cm以上、風の方向と強さを調べて危険判断の目安に加えてみよう。



## 「湯河原梅林公園環境保全活動」のご案内

**目的** クライマーの自主的活動により、湯河原梅林公園内の清掃活動及び、てんとう虫ロックエリアの浮石点検活動を行い、湯河原梅林公園を訪れる入園者の安全の確保と環境の保全を図ることを目的とする。

**日時** 平成23年1月16日(日)午前9時から正午まで  
(雨天の場合は、翌週へ延期)

**場所** 湯河原梅林公園内(神奈川県足柄下郡湯河原町)

**主催** 小田原クライマーズクラブ(代表:西村誠)

**後援** 神奈川県山岳連盟、神奈川県勤労者山岳連盟、日本フリークライミング協会

**協力(予定)** 山岳塾、相川スクールOB会、小田原ナーゲルの会、湯河原観光ボランティア協会、ジャパン・アルパイン・ガイド組合、モンキーマジック、ストーンマジック(順不同)など

**協賛(予定)** 株式会社アルテリア、株式会社ICI石井スポーツ、株式会社カモシカスポーツ、株式会社ゴールドウィン(ザ・ノース・フェイス事業部)、モンベル、岳人、patagonia日本支社、ストーンマジック、ロックフィールド、山と溪谷社、株式会社プロスSWEN  
(順不同)

**参加費** 無料

**持ち物** 登攀具、ロープ、軍手、持っている人は手鎌、鋸、使えなくなったピッケル、点検用のスパナなど

**活動内容:**

湯河原梅林公園の清掃活動を実施する。園内のごみ拾い、散策路に落ちている転石を処理する。ごみは分別して集積する。

こんとう虫ロックエリアの浮石点検活動を実施する。終了点と中間支点の安全を確認した後、浮石の点検を行う。併せて浮石の原因となっている灌木や雑草の除去を行う。活動は落石の監視、入園者の誘導を行い、安全に留意する。

**クライマーの駐車場の利用について**

クライマーの駐車は、長時間や一日中停めることが多いので、駐車場の利用の仕方が問題となっています。「梅の宴」開催期間中は観光客を優先し、クライマーは下の方の駐車場を利用するか公共交通機関を利用するよう配慮してください。

トリコシ アキオ

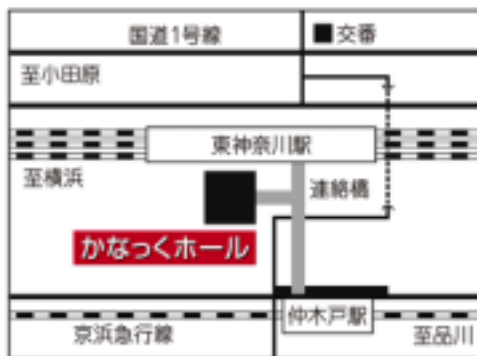
## 鳥越章夫・写真展 ～ 光画風景Ⅱ ～

2010年12月15日(水)～19日(日)

am10:00 - pm6:00 (※最終日pm5:00まで) (※入場無料※)



**会場:**  
「かなつく・ホール」  
ギャラリーB  
(JR東神奈川駅・南口を出て  
すぐ右手にあるビルです)  
(12月18日、19日に  
在廊しています)



## 第18回関東ブロック

### 「雪崩事故を防ぐための講習会」ご案内

主催 日本勤労者山岳連盟 関東ブロック協議会

登山や山スキー、スノーボード等 バックカントリーでの遊びはスリリングで楽しい。一方、毎年、雪崩による事故・遭難・死亡などがニュースでも伝えられています。講習会では、雪崩を知ることで事故のリスクを減らす、実践的学習を進めています。下記実施要項を踏まえ、実技学習・机上講習を申し込んでください。机上講習だけの参加も可、誰でも参加できますので、仲間を誘い合わせて参加願います。会場はどこでも参加できますので、(机上講習日程・各会場・担当:別紙《次ページ》参照)申し込んでください。

※実技講習参加者は、机上講習の受講が必修条件です。必ず受講の事。

#### 実施要項

- ◆ 日 時 2011年1月15日(土)9時 ~ 1月16日(日)14時
- ◆ 場 所 谷川岳天神平及び白毛門登山口・土倉山の家周辺
- ◆ 宿 泊 土倉山の家 JR上越線土合駅 徒歩5分 Tel.0278-72-5522
- ◆ 集 合 1月15日(土)9時 土倉山の家
- ◆ 定 員 基本①クラス(初めての参加)20名(登山・山スキー・ボード)  
基本②クラス(2回目~経験者)10名(登山・山スキー・ボード)
- ◆ 受講費 実技講習 25,000円 学割22,000円  
(一泊二食宿泊料・講習料・資料代・ロープウェイ料金等を含む)
- ◆ 装 備 冬山装備一式、雪崩講習に必要な用具
- ◆ 締め切り:2010年12月31日
- ◆ 問合せ先

東京都勤労者山岳連盟(全国連盟事務所) 担当 川崎

Tel 03-3280-6331 FAX 03-3235-4324 Eメール [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp)

#### 受講費振込先

郵便貯金口座「ばるる」口座名 カワシマ タカシ 記号 10310 番号 90565701  
\*受講申込みと同時に、受講費を払い込んでください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。尚、キャンセルは1週間前とし、その後は実費を頂きます。

実技参加者は受講申込に際し、以下の事柄についてお知らせください。メール/FAXにて

- 1 氏 名・生年月日・性別
- 2 住所および電話番号(メール通信が可能な方は、FAXでも)
- 3 所属山岳会があれば会名、なければ所属なし。
- 4 新特別基金加入回数または、その他の山岳保険加入内容(保険は必ず加入のこと)
- 5 積雪期登山の経験年数又は積雪期に登った山。過去講習会参加の有無
- 6 緊急時の連絡先
- 7 希望講習クラス(例:一般基本①、山スキー基本①など)

※基本クラス②、山スキー基本②は原則として基本①修了者が対象となります。

机上講習開催日 12月16日(木)19時~21時

場所 かながわ県民センター

講師 中山建生氏

申し込み・問い合わせ先 後藤真一 090-1663-8890

[kamog-510@mbp.nifty.com](mailto:kamog-510@mbp.nifty.com)

<http://www.k-rouzan.net/>

## 「山ブキの会」松江観光と鳥取伯耆大山（1729m）山行

10月25日～27日の3日間、松江観光と鳥取伯耆大山（1729m）の登山に行ってきました。

登山は結果としては風雪の為頂上は断念、五合目上部の分岐から行者コースを下山した。

ブナが美しく四季折々の景色がきれいだし中国地方最高峰の山なので一度は行って見たいと思っていた所、労山女性委員会主催の労山50周年記念プレイベントの「09女性インドヒマラヤトレッキング」参加メンバーの松江の野津さんから大山を案内して下さるとの好意のお話を戴いた。経験も体力も乏しい微小山の会での私達では迷惑になるのではと躊躇したがご好意に甘えてリーダーの宮坂さんと野津さんとの度重なる打合せ後実現した。

一日目（25日）：松江市内観光・・・ボランティアガイドの加藤さんに案内して頂き、松江城、武家屋敷などを見学、レトロのバスに乗り、堀川の遊覧船の観光と食を楽しんだ。和菓子も美味。



二日目（26日）：雨天のため大山登山は27日に延期とする。松江の青戸さん、野津さん、村上さんと一緒に登る予定だったのに急遽雨のドライブとなった。大山南側の鍵掛峠へ出かけた。

激しい雨降りだったが鍵掛峠に着いたら一瞬雨が止み、虹が出て青空も見えて紅葉がきれいだった。大山も裾野を見せてくれた。帰路は歴史の道の横手道～小鳥の道を散策、水木しげるの天井画がある園流院に立ち寄った。

ご住職にお借りした部屋で昼食を食べてから大広間に行って座布団に寝転んで110枚の天井画を眺めた。のんびりした一日になったが3人のガイドさんがいてくれたのに風雨の為登山できず本当に残念でした。勿体なかった。

三日目（27日）：今日のガイドさんは鳥取の自然保護指導員の森岡さん。早朝からのお付き合いをお願いした。

山はみぞれ交じりの雪、この日は初冠雪となった。大山寺の夏山登山口からスタート。阿弥陀堂を見学しいよいよ登山開始。「つるしきみ」という名の、春を待つ小さな蕾と今年咲いた赤い実を見つけたりして歩いた。登山道は一合目、二合目、三合目・・・と標識があって歩く目安になり有難かった。登るほど紅葉が美しく「わぁ～きれい」と歓声をあげながら登った。

時々葉に付いた氷の固まりが直撃し「イタイ」と思わず声が出た。氷の凶器だ。

ブナ林がとっても美しく足を止めじっと見入る。気持ちが安らぐ感じがした。

四合目ごろになると雪が多くなり風も強くなり手がかじかむ。五合目付近の樹氷がとってもきれいで幻想的な世界を楽しんだ。明るくなり青空が出たり吹雪になったりとめまぐるしく変わる山の天気。下山してきた人の話によると七合目付近はアイスパンになっていたようだ。

私達はアイゼンの用意をしてなかった事と、森林限界の上は強風があるとあおられて危険



なので安全を優先して分岐から元谷方面に下山した。

この下山が大変だった。急傾斜の階段が雪に覆われていて、雪に慣れていないメンバーは四苦八苦、一段一段雪を踏みつける様に慎重に下りたが雪に足をとられお尻で滑りおりたりもした。ガイドの森岡さんが「こんな日（初冠雪の日）に登らずして大山を語れず」と言っていたのが印象に残った。大山の初冠雪登山は森岡さんも20年登山で初めての経験だったそうだ。

下山途中の元谷避難小屋では昼食後に森岡

さんお手製の写真紙芝居・・・（人間の体にあるものは大自然の中に良く似ているものがあるという・・・人間の三半規管とカタツムリ等）・・・人間と自然とのかかわりを見せて貰う。宇宙や自然に対する視点が素晴らしい。学習登山となった。

今回、山頂は踏めなかったが初雪の日に登山出来、樹氷のブナ林や綺麗な紅葉を見ることが出来たのはラッキーでした。野津さん始め松江、鳥取の山仲間の皆さんに感謝の山旅でした。

青柳百合子

## セルフレスキュー講習会の報告

救助隊 海輪 利昭

開催日 11月3日  
開催地 鷹取山  
参加者 受講生 43名  
講師 14名

毎年、恒例となりつつある岩場に於けるセルフレスキュー講習会を今年も開催しました。今年の立案、具体的な計画は主管である相模ACに担っていただきました。昨年は2日で開催した講習会を1日で、しかも必要な部分は省略しない計画を立案するのは大変だったと思います。9月7日に現地の確認を行いました。10月30日のスタッフトレーニングはあいにくの台風により講習場所の再確認にとどまりました。

そのような中で開催された講習会ですが、怪我人もなく実行できたことは今までの経験を生かして要点を絞った計画を作ったことと思います。

相模ACにエールを送ります。

講習会は3クラスに分けて実施しました。

中級者クラス（8名）

昨年同様に基本的な技術は各自が全て習得していることが条件のクラスで、先進的な技術を実地の体験により良い点と悪い点を評価し、自分の技術とする。

初級者クラス（27名）

岩場に於ける基本的な技術は習得しているものの、セルフレスキューに必要な技術（ピレーからの自己脱出、ロープの登り返

し、負傷者を伴っての懸垂下降、1/3システムでの負傷者の引き上げ等）には慣れておらず、講習で技術の習得をする。

初心者クラス（8名）

ロープの結束法、懸垂下降中での仮固定等、セルフレスキューに必要な基礎技術の習得をする。

講師となった方からの意見、反省など

・最近では（ピレーヤーの）自己脱出は不要との意見もあるが、自分にかかったテンション（張力）から脱出し、次の行動に備える技術は基礎的なものであり今後も欠かせない。

・ロープの登り返しでは受講生の意気込みと途中での懸垂下降システムへの変更は、より注意を要するもので、結局終了点まで登り返したことで時間を要してしまい、他の講習と時間的なズレが生じてしまった。



写真＝横浜こぶしの会ブログより拝借

・1/3システムでの引き上げでは、1/1から順を追って1/3への移行が役立ったことと思う。

・現在使用しているデバイスは殆んどがオートストップ機能付であり、今後の講習では利点を生かして効率的なシステムを講習することが現実的。(ストップシステムについて)

・新しく山岳会に入会した方は最新式のデバイスやアッセンダーを使用することとなり、会の指導者は率先して新しいギヤーの使用法を学ばなければならない。

・負傷者を伴っての懸垂下降は、岩登りでの事故に限った技術ではなく、縦走や沢登りなど広範な登山中の事故で使う技術であり、多くの登山者が習得すべき。

・習得に当たっては3名パーティーのように救助者、被救助者以外にピレーを担当するメンバーがいる場合と、2名パーティーのように救助者と被救助者しかない場合を想定してトレーニングすることが必要。

・最近ロープレスキューについていろいろな本がでており、それぞれの本で違った方法が紹介されているが、いろいろな条件下で起こる事故についての正解はなく、それぞれの条件で正解は異なることを熟知す



写真「横浜こぶしの会」ブログより拝借

べき。有名なガイドが紹介している方法でも一般登山者には適さず、ガイドの技術と経験があってこそ有効となることを知るべき。

山登りはハイキング、縦走、岩登り、沢登り、山スキーと、いずれも楽しいスポーツです。しかしながら山中で事故が発生した場合は、市中で発生した事故と異なり負傷者の救護や搬出は大変な労力と技術を要します。

いざと云う時の為にもいろいろな条件下に於ける救助法を学びましょう。

以上

## ハイキングリーダー学校山行報告

10月24日 権現山/西丹沢

(ハイキングリーダー学校養成山行)

権現山の登山ルートは、案内板があっても分岐点くらいで途中にはほとんど見られず、ルートが定まっていなところも多くあり、なかなか難しかったです。交代で分担して先頭を歩いた時には、どこをコースに取ったらよいか迷うことがありました。その都度、地図と磁石を見ながら地形を把握し、今いる場所や進むべき方向を確認するよう指導していただき、とても勉強になりました。

私は今まで、ただ山頂に立つことが目的で、体力強化が第一と考えていました。しかし、ハイキングリーダー学校の山行では、地図の等高線を見ながら、実際の尾根や谷、

川などを対応させ、ルートを確認しながら登ったので、安全登山のためだけでなく、山の地形にも興味を持つようになりました。読図により山の自然をさらに楽しめることを教えていただき、感謝しております。

藤沢山の会 小嶋倫子



## 笹子雁ヶ腹摺山、お坊山

ハイキングリーダー学校修了山行

「自分たちの力で歩く」2010/11/7

4月に始まったハイキングリーダー学校もとうとう修了山行となり、受講生だけで計画を立て実行することになりました。どこへ行くか意見を出し合った結果、誰も登ったことがなく歩き応えが有りそうということで笹子雁ヶ腹摺山に決めました。リーダー、サブリーダーも決め、持ち物分担もしました。登山計画書は毎回作成しているので、慣れたものです。

当日は行程が長いので6時55分八王子に集合。みんな暗いうちに家を出て集まりました。笹子駅から40分車道を歩き、登山道に入るとすぐにきつい傾斜の登りになりますが、サブリーダーを先頭に良いペースで登っていきます。間があいてしまった時や、衣服の調整などみんなで声をかけあいました。なんとコースタイムより速いペースで、地形図で見た印象よりも楽に雁ヶ腹摺山頂上に着きました。「みんな強くなったね。」とお互い讃えあいましたが、自分たちで行くという意識の違いもあったのかもしれません。頂上からの眺めは素晴らしく、富士山、南アルプス、先月みんなで登った八ヶ岳や遠くに真っ白に雪をかぶった北アルプスまで見渡せました。ここから先の稜線は大小のピークが連続し、もったいなさうな言いながら下り、急な登りの繰り返しです。それでもみんなで地形図や高度計を見て現在地を確認しながら登っていると、辛い登りもいつのまにか楽しくなってきました。

大鹿峠では講師による「修了試験」があり、目的地まで何秒でコンパスを合わせられる

か挑戦しました。全員5～15秒で合格！そこからはいっきに下り、バスで甲斐大和駅に着きました。

これでハイキングリーダー学校も終わりです。忙しかったけれど、自分が所属している山の会とは違う会の方々と山に行く機会はあまり無いですし、皆さん楽しい方ばかりなので毎回とても楽しく参加することができました。

4月からの講義と山行では、地図読み、ロープワークから岩、沢登り、テント泊と多くのことを学びました。講師の方々も時には厳しく、時には暖かく見守ってくださり山行も毎回楽しく、そして無事に終わることができました。一緒に行動するなかで持ち物から様々な技術まで学ぶことは多く、経験談やノウハウを聞くことはとても参考になりました。山行はそれぞれ1回ずつなので、学んだことはまだ体験にすぎません。これからの山行のなかで、自分で確かめたり経験を積んで身につけていかなければならないと思います。「問題が起きて自分でも解決して無事に山行を終える力を身につける。」が目標です。

お世話になった講師の方々、一緒に学んだ受講生のみなさん、ありがとうございました。



藤沢山の会 大野淳子



## 第15回全国登山者自然保護集会の報告

全国登山者自然保護集會に参加して  
自然保護委員 高橋勇三

「生物多様性の恵みを大切にし登山文化の発展を」とをテーマとして、「第15回全国登山者自然保護集會」が11月27日(土)、28日(日)に都連主管で青梅市(ブリジストン奥多摩園)で開催されました。

集會は全国から178名が参加し、神奈川県連からは13名が参加しました。

第一日目は13時から労山斉藤理事長、都連佐々木会長の挨拶で開會し、浦添自然保護委員長の基調報告があり、その後「生物多様性の保全と登山者の役割について」小川潔(東京学芸大学准教授)先生の記念講演が行われました。

講演の要旨は、東京の山岳自然問題、山岳地域の観光開発と自然問題、及び山小屋(電気・トイレ・食事)の向上等の便利性が起因で自然破壊に繋がることを取り上げました。

「生物多様性保全」については、特にタンポポの事例が紹介され、西洋タンポポとの交雑種が増え、日本タンポポが減少している現状。タンポポの種類の遺伝子・染色体の説明、タンポポは複雑な自然界でお互いの遺伝子を保ちながら生殖し、春には黄色に輝く花をつけ人の心を慰めてくれる。

地球のどの生き物も不要なものはないと結びました

講演のあと6地方連盟の活動報告があり、

各県での積極的な取り組みの報告がなされました。

夜の交流会では、懇談、歌声などで全国の仲間が心を一つにしました。

二日目は労山自然保護憲章をさらに発展させていくために、自然保護活動に学ぶとともに、憲章の内容を豊かにするため五つの分科会を開催しました。

**第1分科会** 生物多様性の宝庫である山の自然を汚さずに自然を傷つけない登山とは(オーバーユースや携帯トイレ問題について考える)

**第2分科会** 里山の自然を大事にし、山の多様な楽しみ方を求める登山文化を

**第3分科会** 地球温暖化と気候変動、登山者はどうすればいいか。

**第4分科会** 野生鳥獣と共生するための登山者の役割

**第5分科会** 貴重な山の自然を破壊するヒトの経済活動や社会生活の問題について考える。

参加者は各分科会に分かれて出席し、新しい情報を得たり、それぞれの考えを述べ活発なる意見交換がなされました。

このあと各分科会のまとめの発表と集會のまとめがあり12時閉會しました。

二日間共、好天に恵まれ、モミジの見事な紅葉に彩られた絶景の多摩川渓流沿いに建つ会場に、全国の山仲間が集い、真剣に語り合いました。

今年は、「国連生物多様性条約の第10回



国際会議」(COP10)が名古屋で開催され、労山も登山団体としてできる生物多様性の保全に取り組みなければなりません。これから「労山自然保護憲章」の方策の地球温暖化、低酸素社会、今回のメインテーマである「生物多様性の恵みを大切に、登山文化の発展を」を目指し、登山者として何をなすべきかの行動をしようではありませんか。

全国登山者自然保護集會に参加して  
横浜ハイキングクラブ 伊藤美江子

2日目のテーマ「里山の自然について」の分科會に参加しました。

各県の実情と、いかに會員の方達が里山や山の保全に取り組んでいるかを知りました。竹林の整備、必要のないダム建設の反対等々。自然の中を歩いていてもわからないが、見えない所で大勢の人が努力を続けていること。それを支援するためにも、他の人たちに伝えていきたいと思ひます。

## 自然保護観察會及び懇親會

みずなら山の會 千葉雅子

実施日：11月20日 - 21日

実施場所：11月20日；函南原生林、玄岳  
11月21日；伊豆天城山周辺、万次郎岳(1299m)  
～万三郎(1406m)

参加者：大用、渡邊、高橋、大日方、関根、  
千葉(記)

感想：

**11月20日**；函南原生林～玄岳；函南原生林は、箱根外輪山のひとつ、鞍掛山の南西斜面に位置し、標高600～800m付近に広がり、500種以上の植物と200種以上の動物が確認されています。函南町、三島市のかんがい用水の水源涵養林として、江戸時代から関係者が手厚く保護し生木の伐採や下草の刈り取りなどは一切禁止され「禁伐林」と名付けられています。その為、原生林の様相は今でも保持して巨木が残っていました。今回、私は、初めてここに案内して頂き、原生林の中に浸ることができました。樹齡700年の巨大ブナは惜しいことに5年前に台風により倒れた後で見ることができませんでしたが、アカガシ、ヒメシャラなどの巨樹が群生していて、とても素晴らしいかったです。これも江戸時代から大切に先祖が守ってくれたお陰であると、感謝の念が湧いてきました。

函南の原生林から車で15分ほど移動した道路脇に、玄岳登山口があり、高橋さんが案内してくださいました。15分ほど登ると山頂で、山頂からは、駿河湾、相模湾、富士山の素晴らしい景色が広がり、本当に良かったです。

**11月21日**；天城山は、山頂近くまでブナ林があり、植生が豊かで登山コースも楽な、良い山でした。紅葉がとても綺麗でした。ただし、一部、鹿の害が見られ残念でした。

今回の山行&懇親會は自然観察會にふさわしい良いコースで、お天気にも恵まれ、また、懇親會&温泉もとても楽しかったです。



## 11月27日 自然保護委員会議事録

出席者 大用(川崎HC)、渡辺(相模AC)、高橋(藤沢山の会)、三上(横浜こぶしの会)、大日向(AC横浜)、伊藤(横浜HC)、吉崎(柴笛クラブ)

### 活動報告

自然保護観察会及び懇親会

実施日：11月20日 - 21日

実施場所：伊豆天城山周辺

参加者：計6名

参加者の感想：

「天城山は、山頂近くまでブナ林があり、植生が豊かで登山コースも楽な、良い山であった。落葉がきれいだった。函南原生林、玄岳もとても良かった。来年もまた行きたい。」

「とても楽しかったので、また参加したい。」

「一日目の函南原生林では、有名なブナの巨木が無くなっていた。五年前の台風で倒れたらしいが、自然が刻々と変化していることを実感した。寂しい気持ちにもなった。二日目の天城山の紅葉が素晴らしかった。」

自然観察会にふさわしい、良いコースであった。懇親会も楽しかった。」

第15回全国登山者自然保護集会

実施日：11月27日 - 28日

実施場所：東京都青梅市 プリヂストン奥多摩園

参加者：27日 - 11名、28日 - 8名

出席者の感想：

「西洋たんぽぼとの交雑種が増え、日本

たんぽぼが姿を消しつつある、という話に興味を持った。また、分化会での話合いで熊の生態にも興味がわいた。労山としては生態を学び、共存しようという方向である。会場が狭かった。」

「里山のほとんどが私有地であり、また、里の高齢化が進み、里山を守ることが難しくなっている。行政で行うしかないそうだ。」

「子供は里山で遊ぶと行動に落ち着きが出るそうだ。里山を子供の情操教育の場とするなど、各県で色々な里山へのアプローチがあることを知った。各県の労山も、里山保護運動に関わっていることを知った。」

「神奈川県連も、広沢寺で植林をするなど、里山作りに参加している。しかし、自然保護団体ではないのであまり深く取り組むのは如何なものか、という意見がある。労山ならではの関わり方を考える必要がある。」

「生物多様性についての話が興味深かった。各県連と、各県の行政とが協力して行っている活動の報告が多いのが印象に残った。」

県連総会議案書の内容について

2010年度活動報告の中に、自然観察会・全国自然保護集会・大山不動尻クリーンハイク、を加える。

三月の広沢寺の清掃集会へ、県連自然保護委員として協力する予定。

一月の湯河原幕岩周辺保全活動は、県連自然保護委員としては「協力」ではなく「参加」という形。

2011年度活動方針の中に、自然観察会・勉強会、を加える予定。

クリーンハイク後の報告集などの作業を短縮し、6月から12月の間で何か企画してはどうか。

次の自然保護委員会で、新企画について話し合う。地元の取り組みを書き出してみる。

今年度の総評を盛り込む。

次の自然保護委員会

12月20日(月)19時から 県連事務所にて30分くらい、小勉強会を行う予定。三上さんにCOP10についてのお話を聞く。



## 11月 事務局長会議 議事録

2010年11月9日(火) 7:20開始、

司会：池上事務局長

出席者：小池(川崎労山)・当山(川崎HC)・砂原(柴笛)  
・内藤(AC横浜)・丸尾(横浜HC)・中河原(藤沢)・蝦名  
(相模AC)・関(みずなら)・菊地(カモの会)・栗田(や  
ま++)・青柳(山プキ)・守下(メグリ家)

理事等：中山(会長)・蝦名(財政)・三上(機関誌)・池  
上(事務局次長)・西川(事務局部員/記録)

【 】県連からの連絡事項(連盟ニュース10月号参  
照)

巻頭言について、各会交代で書いて戴きたいと  
お願いしていましたが、内容からして常任理事が書  
く事に成りました。大変お騒がせして申し訳有りま  
せんでした。尚、連盟ニュースに「投稿欄」を新設  
しましたので、奮って投稿して下さい。

常任理事会議事録(連盟ニュース p13)で、田村副  
理事長報告の中で、個人会員制概要が全国理事に配  
布されたとありますが、まだ配布されていません。  
訂正してください。

ファーストエイド講習会(連盟ニュース p12)が、  
10/17に実施されたが、スタッフの手配が無かった  
為実習の進め方に課題を残す結果になりました。

全国自然保護集会(連盟ニュース p3) 神奈川から1  
0名参加予定。希望者は連絡してください。

会員登録申請書は、今月11/30迄に全国に提出  
して戴きます。当初県連に提出して下さいとメール  
しましたが、個人情報沢山含まれていますので、  
直接全国に送って下さい。用紙の中で黒色の項目名  
は必須入力です。青字は書かなくても結構です。尚、  
県連には別な形式で会員名簿を提出して戴きます。  
現在様式を検討中です。

別紙「新会員証名簿について」は、全国に問い  
合わせをして帰って来た返信メールです。参考にし  
てください。

カレンダーは全て売り切れました。ご協力有り  
難うございました。

連盟ニュースの表紙を提供して戴いている鳥越  
氏の写真展(連盟ニュース p11)があります。

県連理事候補の推薦：未だに事務局長さんが決  
まっています。事務局長と言うのは大変な役職で  
す。山を知らない出来ませんので、年配の方で昔  
山をやっていた方が居ましたら、是非推薦して下さ  
い。元会員の方でもいいと思って居ます。(西川個  
人的意見)

ナマメリカリスト申請について：会名、氏名、PC  
ドレ又は、携帯アドレスを会毎にまとめて、後藤理事  
長まで申請して下さい。月に2度情報を送ってくれ  
ます。詳細は、12月の事務局長会議の時に田村副理  
事長が来ますので聞いて下さい。

加盟団体調査表 未提出：横浜HC、ナゲル、緑星、  
こまくさ、おると(フレッチで提出済)

1/11(火)事務局長会議が終了した後に、新年会  
(会費500円)を行いますので、奮ってご参加下さ

い。

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)

<みずなら>関 徹男です。元会員が御前山から  
帰って来ていません。不明になった9月から毎週  
の様に探しに行っているが見つからない。

<藤沢>中河原昭夫です。10/23(土)県連の田村  
副理事長に来て戴き、セルフレスキューの講習会を  
実施。37名参加。とても丁寧にやって戴いた。1回  
では中々身につかないので、これから毎年実施した  
い。

<横浜HC>丸尾真知子です。事故等で報告する事  
はありません。35周年記念として表丹沢野外活動セ  
ンターで、宿泊集会を計画中です(12/11~12)。

<川崎労山>小池秀子です。今度の週末に搬出訓  
練を実施します。

<川崎HC>当山利雄です。10/31(日)公開ハイクを  
開催。台風が来ていたがバスハイクなので三窪高原  
(甲府)行を実施。45名参加し、4名ほど入会希望  
有り。毎年読売新聞に公開ハイクの案内が掲載され  
て居ます。

【3】その他

<会計担当>蝦名さんから

連盟費は、3ヶ月に1度ずつ請求書を出していま  
す。11月に第4期分(11~1月)の請求をしました。  
すでに振り込みをして戴いて居る会もありますが、  
県連ではこの期間が一番財政が厳しい時期になりま  
す。会計年度は2月から始まり、2月当初は繰越金が  
有りますが、今頃に成ると繰越金を使い果たしてし  
まいますので、なるべく早く振り込みをお願い致し  
ます。これから全国へ27万円、事務所代・新スポに1  
3万円×3ヶ月を支払います。

<機関誌担当>三上さんから

川崎HCから送って戴いた報告がパソコンノ故障  
で載せる事が出来ませんでした。申し訳有りませ  
んでした。

12/14(火)に事務局長会議と同じ日に隣の部屋  
で、「会報作り懇談会」を開催いたしますので、是  
非出席して戴きます様に、連絡宜しくお願い致しま  
す。

<議事録担当>池上さんから

議事録をまとめるのは結構大変ですが、出席し  
ない時でも流れが判る様に記録していますので、必  
ず読んで戴きたいと思います。特に輪番で参加され  
ている会の方には是非読んで戴きたいと思います。  
また連盟ニュースも苦労して作っていますので、配  
布するだけでなく、例会などでご活用下さい。

<雪崩ピーコン>中山さんから

資料「埋没者の発見、まずは呼吸を確保・・・」  
についてですが、宝剣岳の例ですが、ピバークして  
朝救助隊に発見され稜線に引き上げられて、本人の  
意識はハッキリしていたが、動き始めてすぐ倒れて  
意識を無くし、ゴンドラで降ろして救急車で運ばれ  
たが亡くなってしまった。これは、体を冷やされて  
いて、立ち上がった瞬間に冷やされた血液が心臓に

送られて死亡した。これは夏山でも有ります。雨に降られ風にさらされて低体温になる事があります。又、雪の有る時は、奥多摩の林道を歩いていてブロックにぶつかって亡くなったとか、大山の林道で女性が亡くなったと報告が有ります。

資料「最新の雪崩ビーコン…」の事については、15年前頃から市販されていますが、今ではアンテナが3本中に入っていて、昔の1本のアンテナの物は販売中止になっています。買い換えが出来なくて、古い機種で練習して生徒がその物を買に行っても買えません。問題は、3本アンテナは慣れだけでなく、機構が複雑で理屈を知る必要があります。県連にある1本アンテナは講習には使わないように指示しました。価格は高い物は6万5千円位(ビーブスDSP)します。

ビーコン無しで探そうとすると、乗鞍と五竜でやりましたが、45分かかって探せませんでした。生存が可能なのは埋まってから15分と言われていました。ヨーロッパでは持って行くのが常識になっています。探すのに5分、1m掘り出すのに10分かかります。雪のある所に行ったら穴掘りの練習をして下さい。お奨めは(6)オルトボックスS1です。これも6万5千円位します。ビーブスDSPは、マニアックで扱いがデリケートです。(7)トラッカーは今年度は販売しますが、来年は(3)トラッカー2に移行します。扱い易いと言う事で2年前には一番普及しました。(3)トラッカー2については、今テストをしましたが安定をしないので、購入は避けて下さい。投げ売りの様な物は買わないで下さい。(7)トラッカーや、ビーブスのフリーライドは白くて携帯のような物で2万円位ですが、これも買わないで下さい。会でそろえるといいですね。相性が有ります。機種テストの結果が出ましたら報告します。質問が有りましたら携帯にいつでも連絡してください。

<特集>【<規約規定>改正について】中山建生(会長)

・ 改正の目的を確認します。「登山」とあるのを「登山・ハイキング」と、「啓蒙」を「啓発」に改め、少し易しくしました。

・ 規約は皆さんの権利が沢山書いて有って、連盟の役員、特に会長や理事には沢山の義務が有ります。権利行使をするのは皆さんで、例えば会長が職務をおろそかにした場合、会長を追求するのが規約の本来的な意味です。皆さんの義務とすれば、連盟費を払って連盟活動に参加する。この規約は、1994年に全面改定しました。それまではかなり曖昧でしたが、判って居る事は全て文章化しました。かなり細かい処まで決めています。例えば規定で「車輛利用安全規定」で、2時間連続して運転したら交代する。これは運送業では当たり前のことです。1人が長時間運手して事故を起こしたのが、全国で7件位有ります。山に行って疲れて帰ってくる事が有ります。神

奈川でも危うく中央分離帯(中央高速)にぶつかりそうになった事が有ります。丹沢で登山者が集まって2日酔いで運転して葛葉の電柱にぶつかって全損事故と言うのが有ります。大阪では死亡事故が有ります。「車輛利用安全規定」は、みんなの安全を守りたいと考えて作りました。

・ 規約の一番大事な事は、連れて行かれるのではなく、自分が自立した登山者になることが大きな柱です。最初はみんな連れてって欲しいと言う事ですが、そのままだといつまでも自分が受け身に成ってしまい、安全にも支障がでる事が判っているので、自立をする事が大切です。その為に教育をしたり訓練をする事が県の規約の中に書いて有る。

・ 今回の改正は、文章上の表現を判りやすくしました。全国で指導員制度についてどうするか検討していますが、「指導員の規定」については全部無くしました。かつて1985年に6名が亡くなった柴笛の事故が有った時、鹿島の東尾根と言う所で、誰もが行ける所では無く、現場に入るだけでも大変で、その時指導員制度を作ったのですが実態に合わないと言う事で廃止しました。

・ ところで自分の会の規約は読んでいますよね。また、全国の規約を見たことが有りますか。遭対基金の定款を読んだことが有りますか。

・ 無届け山行というのは、皆さんの会では有りませんか。

・ 穂高や剣に行くのは危険だけど、丹沢の裏山や奥多摩は安全だと言うのですが、7年程前に奥多摩で7名が死亡したんです。奥多摩は昔ワサビ田が沢山有って、詰めていくとワサビ田が無くなり、2~3mの所を飛び降りて落ちてしまったとか、奥秩父では、稜線からの仕事道が沢山有り、道迷いになるケースが有った。国土地理院の地図も山岳地だと10年位は手が入らないので、古い地図になっている。駅周辺の開発が進んで、登山口に行くのに迷ったと言うのが有ります。現地の役所や観光課に問い合わせをすれば教えてくれます。地図で波線になっている所は要注意です。

・ 規約の話しから少し外れましたが、規約をもう一度良く読んで下さい。来年の3月の臨時総会ではありますので、12/14(火)の事務局長会議までに県連事務局に送って下さい。



# 神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

## 川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計42名(男27 女15) 平均 歳

11/2 高尾山～大明神山(1+4)	大倉(2+3)	二子山(5)	11/21 伊豆・城山(3)
11/3 陣馬山(1)	11/6 丹沢・シダゴゴ山～高松山(1+2)	11/14 丹沢・葛葉の泉(12)	11/21 景信山～高尾山(3+3)
11/4 高尾山～関場峠～堂所山(1+4)	11/6-7 丹沢・大室山～畦ヶ丸(4)	11/20 湯河原・幕岩(4)	
11/5 ヤビツ～三の塔～	11/6-7 西上州・表妙義、	11/21 湯河原・幕岩(2+2)	

## 川崎ハイキングクラブ

報告：川上勝夫 計100名(男50 女50) 平均62歳

10/16-17 小金沢連嶺、湯ノ沢峠/大菩薩(22) 秋山交流	10/31 三窪高原/中央沿線(45) 公	12/5 南山 遭対部教育山行
10/20 織山・安土山/滋賀(1)	開バスハイク	12/12 本社ヶ丸
10/20 川苔山/奥多摩(4)	11/3 滝子山/大菩薩(3)	12/12 曾我丘陵
10/23-24 雁戸山～蔵王/蔵王(4)	11/3 南山/丹沢(3)	12/12-13 天城山
10/23-24 北八ヶ岳/八ヶ岳(4)	11/6-7 金城山/新瀧(5)	12/19 北鎌倉六国見山
10/23 仙石原、芦ノ湖/箱根(7)	11/7 百蔵山/中央沿線(18) 例会山行	12/18-19 大野山
10/23 天狗岩/奥多摩(2)	11/7 笹子雁ヶ腹摺山/中央沿線(3)	12/26 吾妻山
10/24 陣馬山、高尾山/陣馬(6)	11/7-9 祖母山・阿蘇山・九重山/九州(3)	12/31-1/1 竜ヶ岳
10/24 世附権現山/西丹沢(3)	11/13 滝子山/大菩薩(10)	1/3-5 氷の山(中国山脈)
10/27 秩父三十四所めぐり/秩父(7)	11/14 嵩山/群馬(5)	1/8 小田原七福神と旧跡巡り
10/28 伊吹山/関が原(1)	11/14 雷電山/青梅(5)	1/9 真鶴半島
		1/30 曾我丘陵 新春ハイク

## 川崎柴笛クラブ

報告：砂原浩二 計37名(男22 女15) 平均48歳

11/3 権現山 2+(1)	11/13-14 雲取山 8	11/21 甲府幕岩 2+(1)	11/26 湯河原幕岩 1+(4)
11/3 赤岩尾根 1	11/12-14 比叡山 2	11/20 湯河原幕岩 1+(1)	11/27 高水三山 5
11/3 明神ヶ岳 1	11/20-21 七面山 1	11/28 大菩薩連嶺 1+(3)	11/27 高尾山 1
11/7 モミソ岩セルフレスキュー 16	11/16-18 長沢背稜 1+(1)	11/28 兜岩 1+(2)	12/4-5 八方尾根 8
11/6-7 阿弥陀岳 2+(1)	11/14 大室山 1	11/26-28 涸沢岳西尾根 2	12/5 青梅丘陵 1+(1)
11/14 伊豆ヶ岳 1	11/20-22 八ヶ岳 3	11/27 塔ノ岳 1	12/5 鍋割山 1

## アルパインクラブ横浜

報告＝岸 直哉 計38名(男23：女15) 平均 歳

11/3 鷹取山(県連セルフレスキュー講習会)(6)	11/7 瑞牆山(1+3)	11/21 天城山(1+10)	ング(2)
11/3 西丹沢・大室山(1)	11/8 日和田山(1+1)	11/21 塔の岳(2)	11/28 大山(1+1)
11/3 榛名黒岩(2+1)	11/9 湯河原幕岩(1+3)	11/21 湯河原幕岩(5)	11/29 越沢バットレス(1+1)
11/6 塔の岳(1)	11/14 丹沢大倉周辺(遭難対策訓練)(14)	11/23 足和田山(1+40)	11/30 北川(2+1)
11/7 金時山・明神ヶ岳(2+3)	11/16 北川(1+1)	11/23 羽生田、森下(2)	
	11/20-21 雲取山(1+1)	11/27 越沢バットレス(2)	
		11/28 朝霧高原ロゲイニ	

## 横浜ハイキングクラブ

報告＝丸尾真知子 計53名(男21：女32) 平均62歳

11/11 室内例会(39)	以下個人山行	11/13 丹沢山～蛭ヶ岳(4)	12/9 室内例会(43)
11/6 伊豆ヶ岳(3)	11/1 熱海/玄岳(3)	11/17 衣笠山～大楠山(1)	12/5 金時山-明神ヶ岳(9)
11/14 妙義山(21)	11/2 奥武蔵/武甲山(4)	11/18-19 裏妙義(4)	12/11-12 丹沢表尾根、
11/21 倉見山(6)	11/3 三ノ塔(1)	11/21 西丹沢・畦ヶ丸(2)	ヤビツ峠、弘法山(35周年記念山行)
11/28 石老山(11)	11/7 塔ノ岳・丹沢山(1)	11/24 本社ヶ丸～鶴ヶ鳥屋山(2)	12/19 能岳～八重岳
11/3 鷹取山(県・52)	11/10 塔の台～菩提峠(4)	11/27 塔ノ岳(1)	12/23 湘南平～城山公園
11/7 笹子雁ヶ腹摺山(県・11)	11/12 御荷鉢山～赤久縄山(1)	11/30 王岳～五湖山(1)	12/26 大山三峰

事務局長会議で取り上げて欲しい話題：創立35周年記念イベントとして12/11-12に記念山行とイベントが行われました。連盟ニュー ス2月号に報告書を投稿いたします。

事故や怪我の報告：屋久島で女性メンバー(64歳)が歩行中に呼吸困難になり男性メンバーがしばらく背負って、歩くうちに幸いに回復した。体調管理の大切さ、病人の搬送方法のトレーニングの必要性を痛感。携帯電話が通じない屋久島では無線機器を持っているガイドさんを使うべきであったとも反省。

## 横浜こぶしの会

報告＝南雲哲男 計25名(男18人 女7人) 平均55歳

11/3 県連セルフレスキュー講習会(3)+他	11/28 丹沢山(3+2)	12/11 シタゴ山
11/6 鶴ヶ鳥屋山(4)	12/4 幕山(望年山行)(4)	12/12 大山北尾根
11/18 大室山(2)	12/4 幕岩(望年山行)(5)	12/18 金時山
	12/4 真鶴HC(望年山行)(1)	1/7-10 ケレデ 峠-野沢

藤沢山の会

報告=中河原昭夫

計94名(男46:女48)平均64歳

11/1-20 ヒヤクゴ-キヨ(1)	11/17 雪山座学	75)	6)
11/3 運営委員会	11/20 丹沢・弘法山(自然	11/29 30周年実行委員会	12/8 室内例会(40)
11/6 南関東・大和市泉の	保護部13)	(12)	12/11-12 箱根・忘年山行
森・芋煮会(26名)	11/20-21 丹沢・前大沢	12/1 運営委員会(10)	(山行参加32,宿泊36)
11/7 笹子雁ヶ腹摺山(3)	(沢の集い打ち上げ9)	12/1 丹沢・大山三峰(7)	12/12 箱根・湯河原峠(1)
11/9 機関誌「稜線」印刷	11/21 丹沢・タノゴ山(読	12/2 南関東・養老渓谷(4)	12/17 丹沢・鐘ヶ岳北尾
11/10室内例会	図実技15)	12/4 丹沢・鷹落場・矢倉	根(4)
11/13-14 公民館まつり	11/24 室内例会(27)	岳(1)	12/25-26 富士5合目付近
参加(30)	11/27 丹沢・榛ノ木丸(3)	12/6 箱根・万葉公園(1)	・雪山ト
11/15 入会説明会(1)	11/28 南関東・鎌倉(会)	12/7 機関誌印刷・製本(1)	12/27 30周年実行委員会

相模アルパインクラブ

報告:水村和也

計33名(男22:女11)平均53歳

10/26 広沢寺(3)	11/7 大山南稜PH(2)	11/14 大山南稜PH(1)	11/21 兜岩(1)
10/31 広沢寺(2)	11/6-7 湯川(2)	11/14 大山南稜PH(1)	11/21 丹沢三峰(1)
11/3 鷹取山(セルフレス	11/5-7 大台ヶ原サマ-ユクシ	11/14 蓬萊峽ゲレンデ(1)	11/21 大山南稜PH(1)
キュー講習会)(11)	ノ(1)	11/16 大菩薩嶺(2)	11/21 大山南稜PH(1)
11/6 太刀岡山(2)	11/10 大山南稜縦走(1)	11/20 湯川(2)	11/23 湯川(2)
11/7 大山南稜(ポッカト	11/11 鷲頭山(4)	11/20 鍋割山(2)	11/22-23 城山(3)
レ)(1)	11/13 太刀岡山(5)	11/20-21 城ヶ崎・鷲頭	11/22-23 幕岩(2)
11/7 大山南稜(ポッカ	11/13 葛城山(1)	山(2)	予定
トレ)(4)	11/13-14 湯川(2)	11/21 城山(1)	11/28 湯川(2)

カモの会

報告:森谷準一

計66名(男48:女18)平均36.2歳

11/3 西沢渓谷(1)	11/6 鳳凰三山(1)	11/13 城山(9)	11/23 日和田・アイゼ
11/3 柴崎ロック(1+3)	11/6 三つ峠(9)	11/14 武奈ヶ岳(1+1)	ントレ(11)
11/3 広沢寺(2+7)	11/6 ビーコントレ&雪	11/20 七面山(4)	11/23 丹沢・大山川・
11/3 丹沢・ユ-シン(1)	崩講習(8)	11/20 城山・ファミリー	アイゼントレ(2)
11/3 三つ峠(7)	11/7 甲府幕岩(2)	エリア(6)	11/27 塔の岳(1)
11/3 鷹取・県連レスキー	11/13 丹沢・谷太郎水	11/20 立山(4+1)	11/27 城山(7)
訓練(3)	系・大小屋ノ沢(2)	11/21 塔の岳(2)	11/27 鍋割山(3)
11/6 浅瀬入口~権現~	11/13 安達太良山(1)	11/21 塔の岳(1)	11/28 鍋割山(2)
ミツバ岳~浅瀬入口(1)	11/13 榛名富士(1+1)	11/21 城ヶ崎(2)	11/28 塔の岳(1)

やま+

報告:栗田 彰

計15名(男11:女4)平均51歳

11/7 ぐんま県民ハイキング・鹿	11/14 五郎丸(4)	12/9 早戸大滝~本間の頭(中止)
岳(3)	11/24 例会(14)	12/15 望年会
11/10 勉強会・雪山(11)	12/5 本社ヶ丸~鶴ヶ鳥山(4)	12/22 例会
11/13 セルフレスキュー勉強会(6)	12/8 勉強会・雪崩(10)	12/25-26 鳳凰三山

山ブキの会

報告:青柳百合子

計7名(男:女7)平均64歳

9/4 高尾山	10/9-10(宮城)田部	10/25-27 大山(鳥	11/21 大菩薩峠・	12/6 三の塔
9/12 陣馬山	井さんの講演会	取)5合目まで(雪)	らくらくルイ(新	12/10-11 丹沢山
9/14 岩トレ鳩ノ巣	栗駒山	11/3 景信山(北尾	婦人)	(忘年山行)
9/23 景信山	10/13 二つや山(福	根)	11/23 景信山	12/25-26 福島奥会
9/26 大菩薩峠	島)	11/14 丹沢大山	11/26 弘法山	津
10/3 花立	10/15 塔の岳	11/19 弘法山	11/26 武甲山	



登山時報 12月号 目次  
 西北ネパール辺疆に魅せられて 大西保 03  
 山のスケッチ 田村紀子 08  
 連載 クイズ 地図読み迷人 村越真宮  
 内佐季子 09 / 野鳥との出会いシメ 小枝  
 琢三 福井壽彦10 / シグナル 地球環境問  
 題での2人の女性の 先駆者 斉藤義孝 12  
 特集 いま、なぜ個人会員制なのか? (3)  
 京都登山の会員拡大作戦 田原裕  
 山ガールをターゲットに 元井康之 13  
 特集登山の喜びを楽しさを伝え分かち合う  
 こどもたちの登山を応援しよう 西村高行  
 “チビツ子冒険学校”を続けて 今井芳明  
 視覚障害者全国交流集會を主催して 横山  
 範夫 / 障害者ととともに 藤田栄子  
 だれでもが自然の中に感動を求めて! 水  
 越洋 / まずは安全に 中井護 / 多くの  
 が山にふれられるように 高瀬祥子 16

山で気になるカンキョーの話 菊地敏之 23  
 重大事故の根絶を / 第12回全国遭難対策  
 担当者会議 花村哲也 24  
 登山50周年記念「田部井淳子さん講演会」  
 女性委員会のとりくみ吉野敦子森谷金子26  
 JWAFクリック28 / 連載 若い南の島だより  
 雨宮節 30 / 全国連盟の活動31 / 専門委員  
 会活動報告32 / 編集後記 34  
 インタビュー ひと 安曇潤平さん 35  
 地元会員特選ミニガイド  
 島根・春日山/長野至 和歌山・半作嶺  
 から三ツ森山/児嶋弘幸 36  
 ブックエンド 『十五年戦争下の登山-研  
 究ノート』他 中川和道 他 38  
 会報えつらん室 後藤功一 40  
 オススメ山道具 高機能タイツ その2  
 笹原芳樹 42

## 県連のスケジュール

12月			2011年1月			2011年2月		
1	水	登山リーダ養成学校机上	1	土		1	火	
2	木		2	日		2	水	登山リーダ養成学校机上
3	金		3	月		3	木	
4	土	登山リーダ養成学校実技	4	火		4	金	
5	日	登山リーダ養成学校実技	5	水	登山リーダ養成学校机上	5	土	
6	月	常任理事会	6	木	常任理事会	6	日	
7	火	救助隊運営会	7	金		7	月	連盟news印刷
8	水		8	土		8	火	事務局長会議/連盟news発行 救助隊運営会
9	木		9	日		9	水	
10	金		10	月	連盟news印刷	10	木	
11	土		11	火	事務局長会議/連盟news発行	11	金	
12	日		12	水		12	土	
13	月	連盟news印刷	13	木		13	日	
14	火	事務局長会議/連盟news発行	14	金		14	月	
15	水		15	土	救助隊積雪搬出訓練 関東B雪崩事故防止講習	15	火	
16	木	事務局部会	16	日	救助隊積雪搬出訓練 関東B雪崩事故防止講習 湯河原梅林環境保全活動	16	水	
17	金		17	月		17	木	事務局部会
18	土		18	火		18	金	
19	日		19	水		19	土	登山リーダ養成学校実技
20	月	自然保護委員会	20	木	事務局部会	20	日	登山リーダ養成学校実技
21	火		21	金		21	月	自然保護委員会 クリーンハイク実行委員会
22	水		22	土	登山リーダ養成学校実技	22	火	
23	木		23	日	登山リーダ養成学校実技	23	水	
24	金		24	月	自然保護委員会 クリーンハイク実行委員会	24	木	
25	土		25	火		25	金	
26	日		26	水		26	土	
27	月		27	木		27	日	
28	火		28	金		28	月	常任理事会
29	水	連盟ニュース原稿締切	29	土				
30	木		30	日				
31	金		31	月	常任理事会			

2010年・2011年度の全国的な規模の集会・会議予定

関東ブロック雪崩講習  
第29期第1回評議会

2011年01月15日(土)～01月16日(日)  
2011年02月19日(土)～02月20日(日)